

第6 資産カルテ（平成26年度決算）

1. 資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状況や今後の大規模改修・修繕計画などについての確かな把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からの提言も踏まえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

2. 対象施設の考え方

- (1) 施設の規模
県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。
- (2) 県民の利用
県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。
- (3) 利用料金の徴収
維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

3. 今年度における対象施設

上記の考え方にに基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

三重県総合文化センター
複合文化施設（文化会館、県立図書館など）
三重県立美術館
三重県営サンアリーナ
コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）
総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）
三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）
総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）
三重県総合博物館

4. 資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていけるよう努めます。

資産カルテ【平成26年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 432億6千4百万円	財源計 432億6千4百万円 (内訳) 国庫支出金 ー 地方債 298億6千7百万円 県費その他 133億9千7百万円 (地方債残高 14億5千3百万円) ※借換債を含む	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 364億 6百万円 ・今後 10億 円 計 374億 6百万円 修繕費累計額② ・これまで 30億3千1百万円 ・今後 51億 6百万円 計 81億3千7百万円
	過去の改修費 0円 ※資産価値の増減を伴わない修繕については修繕費に整理しました。	0円	
今後の整備	大規模改修等計画(予定) ・平成27年度 建築設備・建築物 5億円 ・平成46年度 建築設備・建築物 5億円	10億円	人件費累計額③ ・これまで 101億3千7百万円 ・今後 146億6千4百万円 計 248億 1百万円 管理費累計額④ ・これまで 110億8千3百万円 ・今後 153億5千2百万円 計 264億3千5百万円 利子累計額⑤ ・これまで 96億3千2百万円 ・今後 8千7百万円 計 97億1千9百万円

今後の修繕	修繕計画(予定)	51億6百万円
	・舞台修繕(27~28) 9億4百万円	
	・舞台設備(29~55) 22億7千2百万円	
	・建築設備(27~55) 19億3千万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H26	H25		H26	H25	
人件費	503,899	496,519	千円	料金収入	161,686	167,386 千円
管理費	524,429	517,286	千円	……A1		
修繕費	253,911	323,696	千円	事業収入等	228,283	157,183 千円
事業費	479,240	333,812	千円	県費負担額	1,666,941	1,646,418 千円
元利償還金	295,431	299,674	千円	……A2		
計	2,056,910	1,970,987	千円	計	2,056,910	1,970,987 千円

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計
1,064億9千8百万円

成果指標(実績は26年度)	
目標値①	施設利用率 年間76.0%
実績	79.1%
目標値②	
実績	

利用者数	
・当初予定利用者数 年間65万人(図書館除く)	
・実績(平成26年度) 739,568 人(図書館除く) 310,890 人(図書館)	
計	1,050,458 人 …… B
(参考) 利用者1人当たりの運営費負担額(H26)	
A1 ÷ B H26	154 円
【 A2 ÷ B H25	156 円 】

県民1人当たり運営費負担額(H26)	
A2 ÷ CH26	916 円 C… (H26推計人口) 1,820,491 人(H26.10.1)
【 A2 ÷ DH25	900 円 D… (H25推計人口) 1,829,063 人(H25.10.1)

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
- ・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
- ・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
- ・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】				【非営利】			
・大ホール	平日午前	入場料1,000円以下	62,900円	・大ホール	平日午前	入場料1,000円以下	41,930円
・中ホール	平日午前	入場料1,000円以下	31,450円	・中ホール	平日午前	入場料1,000円以下	20,960円
・大会議室	午前		17,600円	・大会議室	午前		8,800円
			など				など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。
 吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレセプションホール等の耐震改修工事を実施し終了。

施設のバリアフリー化状況

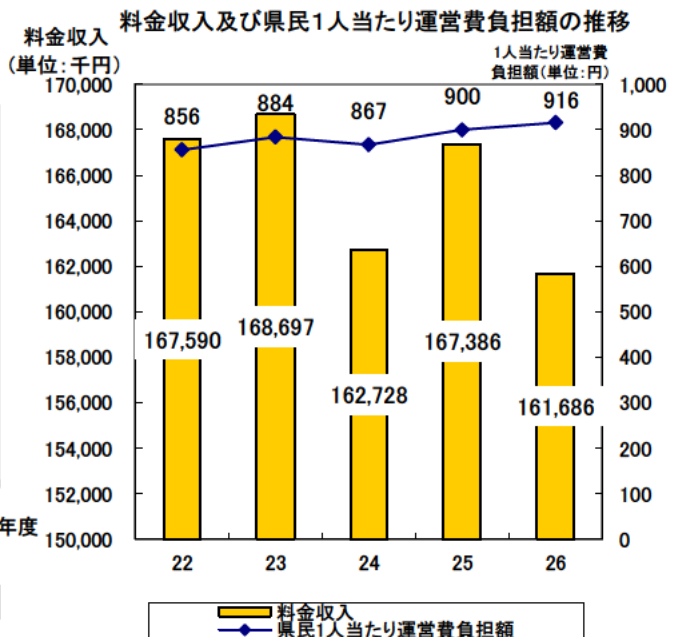
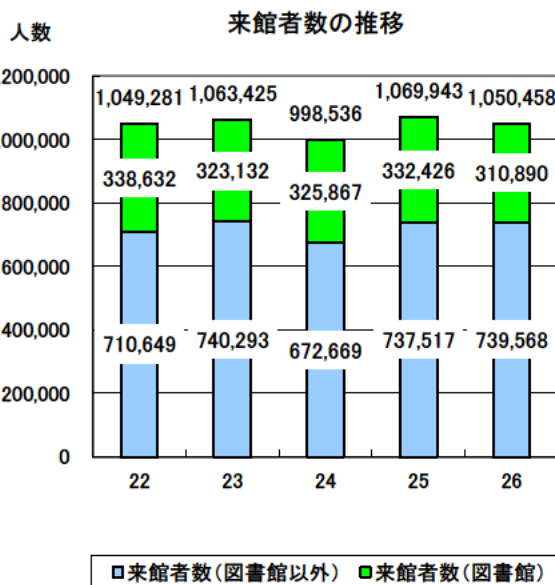
平成12年度にバリアフリー工事を実施済。(約1.2億円)(スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他)

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

経営の効率化、柔軟な事業展開を行うとともに、機動性・弾力性の高さを活かして各種サービスの改善に取り組んできた結果、H24年度に過去最高の利用率を更新し、H26年度も高い利用率を維持している。
 県の文化芸術・生涯学習・男女共同参画の拠点施設として事業を展開しており、アウトリーチなど市町等との連携を積極的に行っている。今後も複合施設のメリットを活かした事業連携や県内各施設とのさらなる連携を期待する。

成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
施設利用率(%)	78.0	79.6	81.1	80.1	79.1



資産カルテ【平成26年度決算】

施設名

三重県立美術館

建築年月日	昭和57年3月	供用開始日	昭和57年9月	延床面積	10,666㎡	用地面積	24,403.80㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造地上2階一部地下1階建						
施設運営形態	直営	指定管理者名	-				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 86億4千5百万円	財源計 86億4千5百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 45億8千2百万円 ・今後 5億2千2百万円 計 51億4百万円 修繕費累計額② ・これまで 4億3千4百万円 ・今後 8億6千万円 計 12億9千4百万円 人件費累計額③ ・これまで 38億7千1百万円 ・今後 19億9千5百万円 計 58億6千6百万円
	建物建設費(A) 45億8千2百万円	(内訳)	
	当初 27億8千2百万円 増改築 18億円	国庫支出金 } 地方債 } 86億4千5百万円 県費その他 }	
用地費(B) 総合教育センター敷地	(地方債残高 10億4千1百万円)		
備品・その他(C) 40億6千3百万円			
過去の改修費 0円	0円		
※資産価値の増減を伴わない修繕については修繕費に整理しました。			
今後の整備	大規模改修計画(予定) 平成27~30年度 5億2千2百万円	5億2千2百万円	管理費累計額④ ・これまで 44億7千9百万円 ・今後 23億7百万円 計 67億8千6百万円 利子累計額⑤ ・これまで 7億3千万円 ・今後 6千万円 計 7億9千万円

今後の修繕	修繕計画(予定)	8億6千万円
	施設設備(H27) 7千8百万円	
	施設設備(H28~30) 4億3千4百万円	
	施設設備(H32~43) 3億4千8百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	H26	H25		H26	H25	
人件費	74,719	100,814	千円	料金収入	10,342	19,276 千円
管理費	152,114	146,465	千円	……A1		
修繕費	39,351	10,943	千円	事業収入等	0	0 千円
事業費	51,709	69,235	千円	県費負担額	305,585	316,308 千円
元利償還金	6,951	16,576	千円	……A2		
計	324,844	344,033	千円	雑収入	8,917	8,449 千円
				国庫支出金	0	0 千円
				計	324,844	344,033 千円
			……A			

ライフサイクルコスト計 ①~⑤ 計	198億4千万円
----------------------	----------

成果指標(実績は26年度)	
目標値①	入館者数 10万人
実績	90,516人
目標値②	講演会・ギャラリートークの開催 7回
実績	28回

利用者数	
・当初予定入館者数	10万人
・実績(平成26年度)	90,516人
計	90,516人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H26)	
A1÷B H26	114円
(H25	152円)

県民1人当たり運営費負担額(H26)	
A2÷C H26	168円 C・(H25推計人口) 1,820,491人(H2610.1)
[A2÷D H25	173円 D・(H24推計人口) 1,829,063人(H25.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
 ・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
 ・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
 ・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、それぞれ美術館と連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館

常設展 一般 300円
 大学生 200円
 企画展は、その都度設定

施設の耐震化状況

平成20年度にエントランスつり天井改修済み。柳原義達記念館A室、企画展示4室のつり天井は未改修(平成27年度実施)。
 柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済み。

施設のバリアフリー化状況

展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

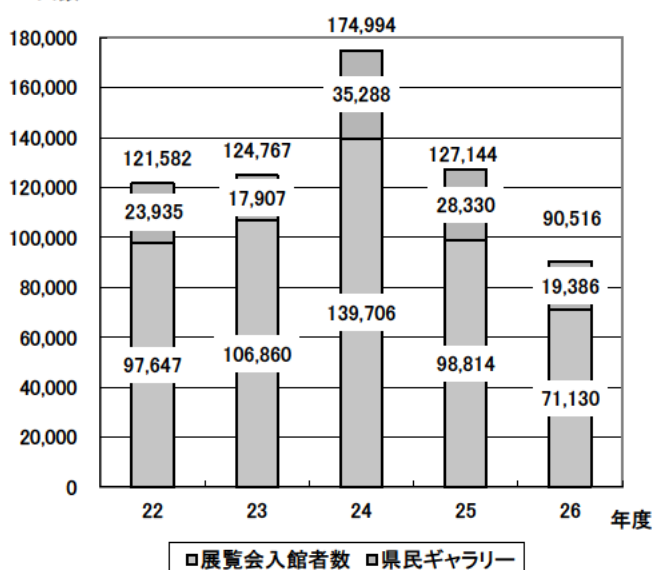
限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。
 また、美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「樺の会」、公益財団法人三重県立美術館協力会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開する。

成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
展覧会入館者数	97,647	106,860	139,706	98,814	71,130
県民ギャラリー	23,935	17,907	35,288	28,330	19,386

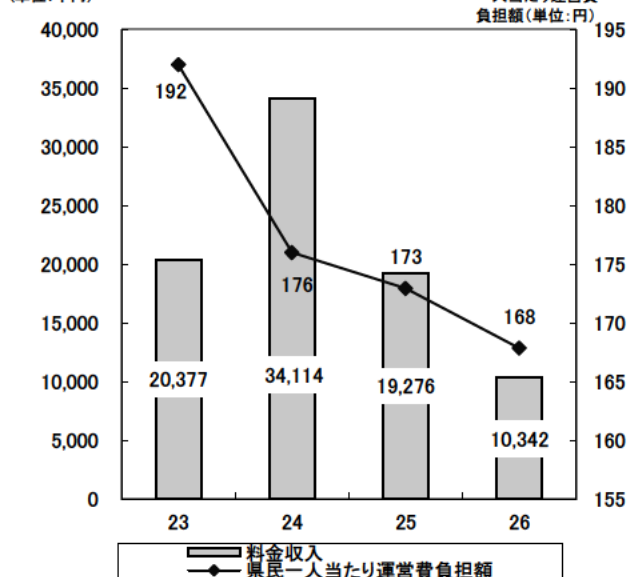
人数

来館者数の推移



料金収入
(単位: 千円)

料金収入及び県民一人当たり運営費負担額の推移



建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社 スコルチャ三重				

	資産	財源	ライフサイクルコスト			
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 180億4千万円	財源計 180億4千万円	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上</div> 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 160億1千4百万円 ・今後 0円 計 160億1千4百万円 修繕費累計額② ・これまで 11億4千2百万円 ・今後 30億9千9百万円 計 42億4千1百万円 人件費累計額③ ・これまで 20億1千4百万円 ・今後 24億3千3百万円 計 44億4千6百万円 管理費累計額④ ・これまで 43億6千9百万円 ・今後 55億7千7百万円 計 99億4千6百万円 利子累計額⑤ ・これまで 46億9千6百万円 ・今後 1億2千3百万円 計 48億2千万円			
	建物建設費(A) 1期(当初) 160億1千4百万円 2期 用地費(B) 6億1千6百万円 備品・その他(C) 14億1千万円 過去の改修費	(内訳) 国庫支出金 地方債 140億2千万円 県費その他 40億2千万円 (地方債残高 18億2千3百万円) ※借換債を含む				
今後の整備	大規模改修計画(予定)					
今後の修繕	修繕計画(予定) ・平成27年度 1億4千4百万円 ・平成28年度 1億2千4百万円 ・平成29年度 1億3千1百万円 ・平成30年度(～H56) 27億円	30億9千9百万円				
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H26	H25	収入額(決算額)	H26	H25
	人件費	74,412	89,563千円	料金収入	67,286	97,415千円
	管理費	176,444	193,484千円	……A1		
	修繕費	91,189	55,786千円	事業収入等	28,197	32,483千円
	事業費	33,916	36,385千円	国庫負担額	0	31,000千円
	元利償還金	426,959	424,224千円	県費負担額	707,437	638,544千円
	計	802,920	799,442千円	……A2		
				計	802,920	799,442千円
			ライフサイクルコスト計 ①～⑤ 計 394億6千7百万円			

成果指標(実績は26年度)		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	57.0 %
実績		51.4 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	67.0 %
実績		66.9 %
目標値③	会議室等平均稼働率	20.0 %
実績		14.7 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	320,000 人
実績		231,193 人

利用者数	
・当初予定利用者数	年間 32.0 万人
・実績(平成26年度)	231,193 人
計	231,193 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B H26	291 円
【 H25	308 円 】

県民1人当たり運営費負担額(H25)			
A2÷C H26	389 円	C… (H26推計人口)	1,820,491 人(H26.10.1)
【 A2÷D H25	349 円	D… (H25推計人口)	1,829,063 人(H25.10.1)

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・“であいと交流”のステージを提供します。
- ・新たな“であい”によって文化を育み、“交流”を通じて人々に活力を与えます。
- ・多目的機能を備えた大規模複合施設である特性を活かし、様々な催しを実施し、地域との豊かなコミュニケーションに寄与します。
- ・特色のある文化活動や国際交流、スポーツの普及振興に取り組み、魅力ある三重県に貢献します。
- ・様々な活動を通じて、経済を活性化し、地域振興に寄与します。

料金体系

メインアリーナ【全部利用】	サブアリーナ【全部利用】
アマチュアスポーツ等 平日 8,200～126,000 円/1H 土・日・祝 9,800～150,000 円/1H	アマチュアスポーツ等 平日 1,600～30,000 円/1H 土・日・祝 2,000～36,000 円/1H
音楽・プロスポーツ興行 平日 84,000～126,000 円/1H 土・日・祝 100,000～150,000 円/1H	音楽・プロスポーツ興行 平日 20,000～30,000 円/1H 土・日・祝 25,000～36,000 円/1H

施設の耐震化状況

H18～19 天井耐震改修工事実施

施設のバリアフリー化状況

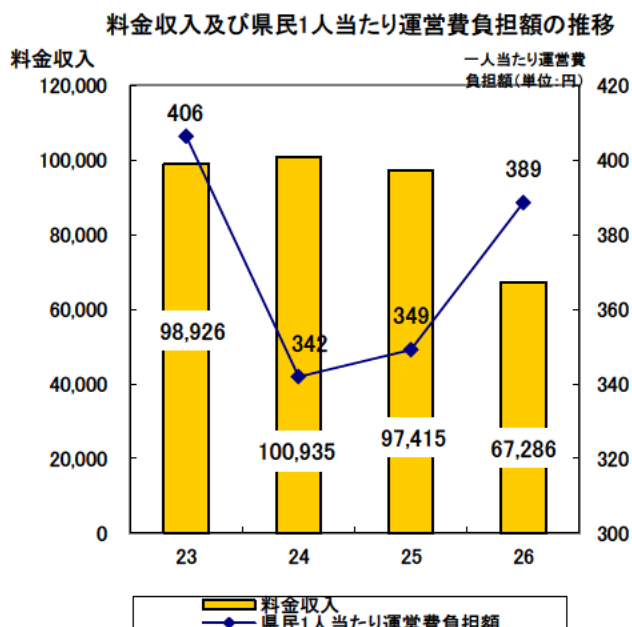
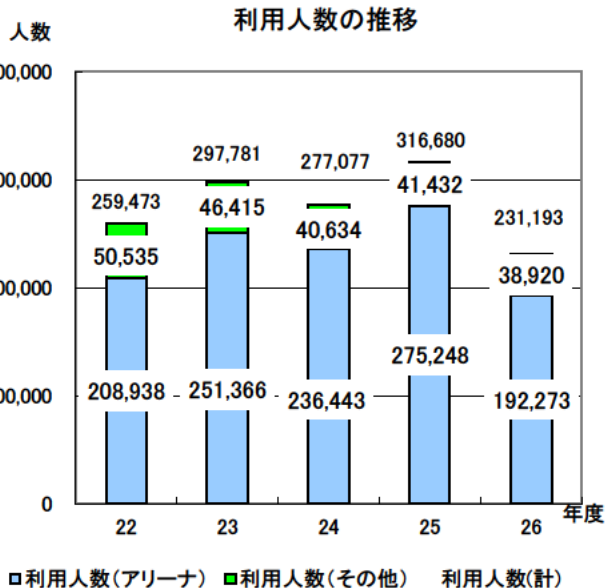
- H13 身障者用駐車場及び屋外通路設置工事
- H24 トレーニング室前身障者トイレ改修工事
- H25,26 障がい者トイレ改修工事

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

地域団体とのコラボレーションに努め、地域と連携した多彩なイベント等を実現し、新たな分野での利用拡大につなげている。また、地域や企業を対象とした体力・健康づくりやコミュニティの活性化に向けた自主事業の取組により、地域の文化・健康づくりや地域経済に貢献している。運営コスト面では、受電先を特定規模電気事業者へ切り替え、電力料金の節減効果を実現するなど、経費節減に努めている。今後は、老朽化が進む施設・設備について、修繕工事により利用促進への支障をきたすことのないよう運営面での配慮を要する。

成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用人数	259,473	297,781	277,077	316,680	231,193
平均稼働率（メインアリーナ）	60.5%	48.9%	53.8%	57.7%	51.4%



資産カルテ【平成26年度決算】

施設名

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)

建築年月日	平成4年8月	供用開始日	平成4年10月	延床面積	34,214.74㎡	敷地面積	391,000㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

資産		財源		ライフサイクルコスト		
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	188億6千9百万円	財源計	188億6千9百万円		
	建物建設費(A)	121億4千4百万円	(内訳)			
	1期	14億6百万円	国庫支出金			
	2期	92億5千4百万円	地方債	130億5千万円		
	3期	14億8千4百万円	県費その他	58億1千9百万円		
	用地費(B)	21億5千2百万円	(地方債残高	7億7千3百万円)		
	備品・その他(C)	45億7千3百万円	※借換債を含む			
	過去の改修費	7億6千2百万円				
今後の整備	大規模改修計画(～H54予定)		} 25億円			
	・サッカーラグビー場(芝改修)	6億円				
	・水泳場(外壁等)	10億円				
	・体育館庭球場(人工芝等更新)	9億円				
今後の修繕	修繕計画(～H54予定)		} 86億円			
	・サッカーラグビー場機器	5億円				
	・水泳場機器	60億円				
	・体育館庭球場機器	21億円				
運営費(単年度)	支出額(決算額)	H26	H25	収入額(決算額)	H26	H25
	人件費	56,618	56,345 千円	料金収入	103,994	104,661 千円
	管理費	376,258	389,615 千円	……A1		
	修繕費等	0	0 千円	事業収入等	55,819	38,248 千円
	事業費	39,113	40,888 千円	県費負担額	460,036	489,916 千円
	元利償還金	147,860	145,977 千円	……A2		
	計	619,849	632,825 千円	計	619,849	632,825 千円
				ライフサイクルコスト計 ①～④ 計 433億6千1百万円		
				施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 129億円 ・今後 25億円 計 154億円 修繕費累計額② ・これまで 1千6百万円 ・今後 86億円 計 86億1千6百万円 管理費累計額③※ ・これまで 72億1千万円 ・今後 90億9千万円 計 162億9千万円 利子累計額④ ・これまで 30億8百万円 ・今後 4千6百万円 計 30億5千5百万円 ※管理費累計額には人件費累計額を含む。		

成果指標(実績は26年度)			
目標値①	利用者数(合計)	目標値	490,600人
実績		実績	488,845人
目標値②	大会数	目標値	400回
実績		実績	399回

県民1人当たり運営費負担額(H26)			
A2÷CH26	253 円	C… (H26推計人口)	1,820,491 人(H26.10.1)
【A2÷DH25	268 円	D… (H25推計人口)	1,829,063 人(H25.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間40.0万人
・実績(平成26年度)	488,845 人
計	488,845 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H26)	
A1÷B H26	213 円
【 H25	215 円】

資産カルテ（続き）

施設名 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

水泳場 メインプール・サブプール・トレーニングルーム 一般 450円/回	サッカーラグビー場 メイングラウンド 一般 3,500円/時間 第1,2,4グラウンド 一般 1,800円/時間 第3グラウンド 一般 1,500円/時間
庭球場 屋外コート 一般 600円/面・時間 シェルターコート 一般 800円/面・時間 センターコート 一般 1,200円/面・時間	体育館(全部使用) 平日料金 2,300円/時間 日・祝日料金 2,900円/時間 トレーニングルーム 一般 140円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合

施設の耐震化状況

建物構造物は、すべてS56. 6. 1建築基準法改正法施行後建築のため、耐震対策済。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレ、身障者(車いす)用観覧席、エレベーターの設置済み

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

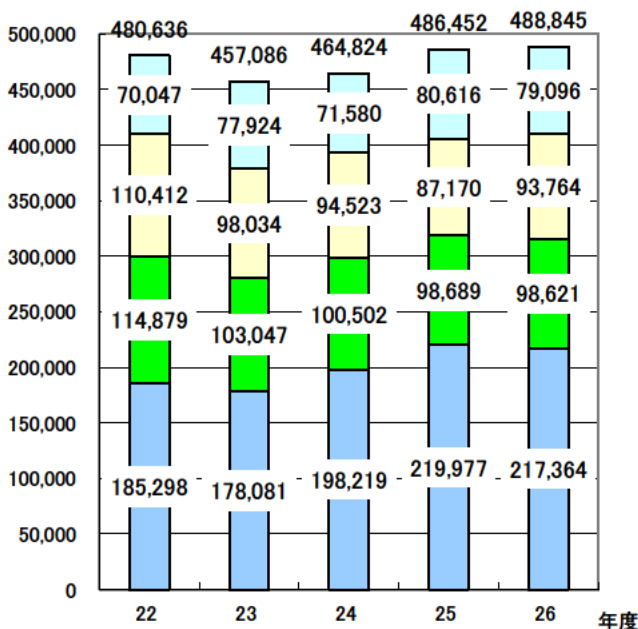
- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数(合計)	480,636	457,086	464,824	486,452	488,845
大会数	400	394	396	398	399

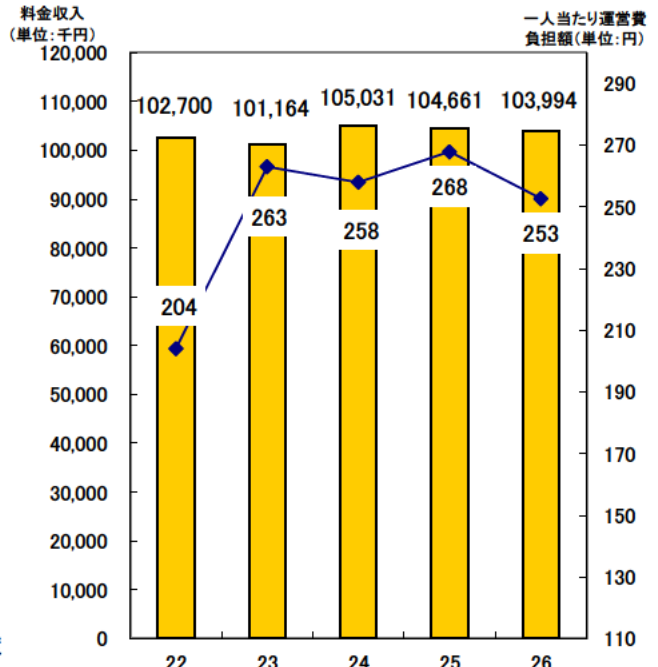
人数

利用者数の推移



□水泳場 □庭球場 □サッカー・ラグビー場 □体育館等

料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



■料金収入 ◆県民1人当たり運営費負担額

資産カルテ【平成26年度決算】

施設名 三重交通Gスポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場)

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	10,530㎡	用地面積	85,628㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産		財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+C	15億6千6百万円	財源計	15億6千6百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上(S39~H25)	
	建物建設費(A)	12億7千7百万円	(内訳)	15億6千6百万円	建物建設費・改修費累計額②	
	1期	2億1千0百万円	国庫支出金	百万円	・これまで	39億5千0百万円
	2期	2億8千0百万円	地方債	} 15億6千6百万円	・今後	- 百万円
	3期	2億6千2百万円	県費その他		計	39億5千0百万円
	4期	5億2千5百万円				
	用地費(B)	0百万円			修繕費累計額②	
	備品・その他(C)	2億8千9百万円	(地方債残高	9千8百万円)	・これまで	0百万円
	過去の改修費	26億7千3百万円			・今後	- 百万円
					計	0百万円
今後の整備	大規模改修計画(~H34予定)		} 103億1千7百万円		人件費累計額③	
	・陸上競技場	94億1千7百万円			・これまで	8億6千6百万円
	・体育館本館・別館	7億8千0百万円			・今後	- 百万円
	・トレーニングセンター	1億2千0百万円			計	8億6千6百万円

今後の修繕	修繕計画(~H34予定)		} 0百万円
	・陸上競技場	0百万円	
	・体育館本館・別館	0百万円	
	・トレーニングセンター	0百万円	

	支出額(決算額)			収入額(決算額)			
	H26	H25		H26	H25		
人件費	40,528	40,266	千円	料金収入	30,146	29,741	千円
管理費	43,596	45,931	千円	……A1			
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	13,404	7,660	千円
事業費	8,225	8,358	千円	県費負担額	57,666	108,660	千円
元利償還金	8,867	51,506	千円	……A2			
計	101,216	146,061	千円	計	101,216	146,061	千円

管理費累計額④
 ・これまで 15億6千5百万円
 ・今後 - 百万円
 計 15億6千5百万円

利子累計額⑤
 ・これまで 2億9千7百万円
 ・今後 - 百万円
 計 2億9千7百万円

※これまでの利子累計額には、未償還利子を含む。

平成25年度において耐用年数50年を経過したため、更新しない。

ライフサイクルコスト計
 ①~⑤ 計
 66億7千8百万円

※修繕は、改修にあわせて実施。

成果指標(実績は26年度)			
目標値①	利用者数	目標値	364,100人
実績		実績	350,927人
目標値②	大会数	目標値	300回
実績		実績	308回
県民1人当たり運営費負担額(H26)			
A2÷CH26	32 円	C… (H26推計人口)	1,820,491 人(H26.10.1)
[A2÷DH25	59 円	D… (H25推計人口)	1,829,063 人(H25.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間27万人
・実績(平成26年度)	350,927 人
計	350,927 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H26)	
A1÷B H26	86 円
(H25	81 円)

資産カルテ（続き）

施設名 **三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）**

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場 全部使用の場合（平日）2,000円/時間（日曜、祝日）2,500円/時間 ・補助競技場 全部使用の場合（平日）800円/時間（日曜、祝日）1,000円/時間 ・体育館本館 全部使用の場合（平日）2,100円/時間（日曜、祝日）2,700円/時間 ・体育館別館 全部使用の場合（平日）1,000円/時間（日曜、祝日）1,400円/時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングセンター 高校生以下 60円/時間　その他の者 120円/時間 <p>※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合</p>
--	--

施設の耐震化状況

H9.3に実施した耐震診断の結果、全施設耐震性能があると判定された。体育館本館の吊天井は、H21.7に耐震改修を完了した。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレの設置済み

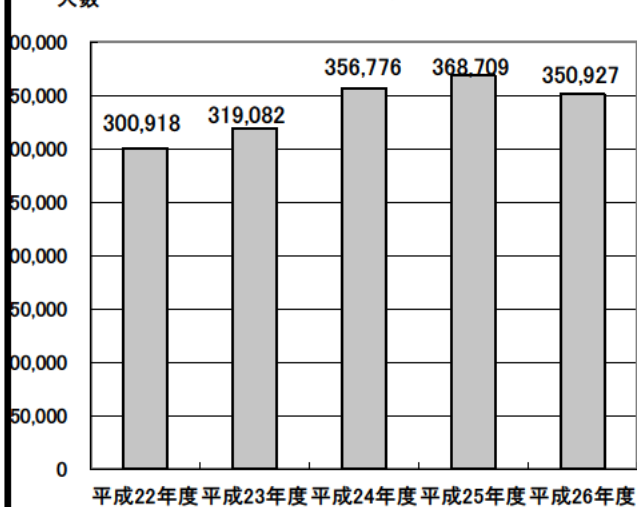
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。また、利用規定について、利用者の要望に対応できるような限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

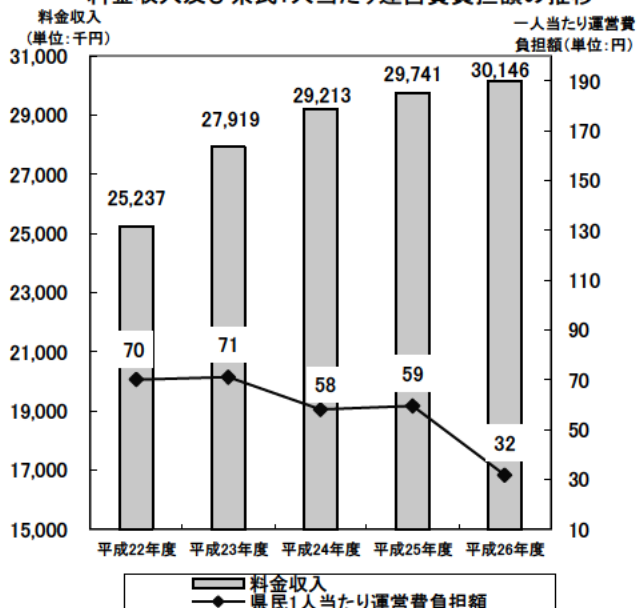
成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	300,918	319,082	356,776	368,709	350,927
大会数	264	318	306	308	308

人数 利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【平成26年度決算】

施設名

三重県総合博物館

建築年月日	平成25年4月	供用開始日	平成26年4月	延床面積	11,705.09㎡	用地面積	38,884.70㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄筋コンクリート)造、免震構造 地上2階地下1階						
施設運営形態	直営	指定管理者名	-				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 110億2千2百万円	財源計 110億2千2百万円 (内訳) 国庫支出金 地方債 } 110億2千2百万円 県費その他 } (地方債残高 61億5千8百万円)	施設の耐用年数を60年とし、60年間の総コストを計上 建物建設費累計額① ・これまで 110億2千2百万円 ・今後 計 110億2千2百万円 修繕費累計額② ・これまで 41万8千円 ・今後 74億5千4百万円 計 74億5千4百万円
	用地費(B) 23億9千4百万円 備品・その他(C) 19億5百万円		人件費累計額③ ・これまで 2億4千2百万円 ・今後 94億4千万円 計 96億8千3百万円
今後の整備			管理費累計額④ ・これまで 1億5千万円 ・今後 85億円3千百万円 計 86億円8千百万円 利子累計額⑤ ・これまで 1億6百万円 ・今後 4億5千7百万円 計 5億6千3百万円

今後の修繕更新	修繕更新計画(予定)	74億5千4百万円
	建築・施設設備(H28~32) 4億1千9百万円	
	建築・施設設備(H33~42) 15億5千9百万円	
	建築・施設設備(H43~52) 28億5千6百万円	
	建築・施設設備(H53~62) 8億7千7百万円	
	建築・施設設備(H63~72) 11億2千万円	
	建築・施設設備(H73~82) 6億2千3百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)	H26	H25	収入額(決算額)	H26	H25
	人件費	242,039	千円	料金収入	66,814	千円
	管理費	149,982	千円	……A1		
	修繕費	418	千円	事業収入等	808	千円
	事業費	126,484	千円	県費負担額	428,650	千円
	元利償還金	85,290	千円	……A2		
	計	518,923	千円	雑収入	22,651	千円
				国庫支出金		千円
			計	518,923	千円	

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計 374億4百万円

成果指標(実績は26年度)	
目標値①	平成27年度展示観覧者数 20万人
実績	306,692人
目標値②	
実績	-

利用者数	
・平成27年度予定入館者数	28万人
・実績(平成26年度)	364,292人
計	364,292人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額(H26)	A1÷B H26 183円
	(H25 円)

県民1人当たり運営費負担額(H26)			
A2÷C H26	235円	C・(H26推計人口)	1,820,491人(H26.10.1)
[A2÷D H25	-円	D・(H25推計人口)	1,829,063人(H25.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

平成26年4月に開館した三重県総合博物館(MieMuみえむ)は「三重が持つ『多様性の力』」をテーマに、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動理念とし①三重の資産の保全・継承、②人づくりへの貢献、③地域づくりへの貢献の3つの使命を達成することをめざしています。

今後は、豊かで多様性に富んだ自然環境のもとで育まれたくらしや歴史・文化を、皆様とともに探求し、活用・情報発信を行うことで、三重の地域や人々に活力をもたらし、明日の三重を生み出す力を育む活動を積極的に展開していきます。

料金体系

総合博物館(平成26年4月～)	
基本展示 一般	510円
学生(大学、各種専門学校等)	300円
企画展は、その都度設定	
年間パスポート	
一般	1,640円
学生(大学、各種専門学校等)	1,040円

施設の耐震化状況

免震構造

施設のバリアフリー化状況

魅力的で使いやすい博物館をつくるため、ユニバーサルデザインに関する団体との意見交換を定期的に行い、施設のバリアフリー化を行いました。

これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

—

成果指標の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
展示観覧者数	—	—	—	—	306,692
	—	—	—	—	—

